

質問通告書

令和4年6月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
1	那須 勇 (60分) 【一問一答】	<p>1 森林の適正管理と利活用による林業振興の推進について</p> <p>(1) 林業の情勢について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工林(民有林)の面積は、県内でトップの面積となっているが、その管理状況は ・ 森林所有者及び担い手(林業事業体・自伐林家)が抱える課題をどう捉えているか <p>(2) 森林環境譲与税について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的にどのように活用しているか ・ この財源を有効に活用するための体制整備は <p>(3) 林業振興の推進について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林経営管理制度の取組について市の考えは ・ 将来を見据えた基本となる具体的なビジョン、指針を早期に策定すべきと考えるがいかか <p>(4) いわたの森林づくり県民税の活用について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の内容及び活用状況は ・ 市としても積極的に周知すべきと考えるがいかか 	市長
		<p>2 学校における防災教育の取組について</p> <p>(1) 当市が目指す防災教育(特に持続可能な復興教育)の基本的な考えについて伺う</p> <p>(2) 防災教育の取組状況について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全総合支援事業(いわたの復興教育スクール)の取組成果と課題は ・ 防災学習DIGの取組を市独自で継続的に実践していく考えはないか <p>(3) 防災教育や学習の場に役立てるため祭時大橋周辺を震災の教訓から忘れてはいけないと残した「災害遺構」について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理状況と安全対策は <p>(4) 北上川の歴史や自然、流域の情報などを知ることができる「北上川学習交流館あいぽーと」の利活用について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去5年間の来館者数と学習支援で来館した学校数及びその人数は ・ 防災教育の取組の場として積極的に活用すべきと考えるがいかか 	市長 教育長

		<p>3 子供たちの読書環境の充実について</p> <p>(1) 学校図書館の新たな図書の整備に加え、児童生徒が正しい情報に触れる環境整備等の観点から伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書刊行後時間の経過とともに最新の情報を記載していない古い図書の廃棄及び図書の更新を進めるべきと考えるがいかがか ・ 学校図書館図書の廃棄基準及び選定基準は ・ 学校規模に応じた蔵書の整備目標について、学校図書館図書標準の達成状況は ・ 廃棄及び選定基準に基づく更新計画は <p>(2) 市立図書館と学校と連携し学校図書館への効果的、効率的な資料の搬送について巡回車（移動図書館車）の役割は重要と考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一関図書館、大東図書館、東山図書館に配備されている巡回車の稼働日数は ・ 巡回車での貸出冊数は ・ 巡回車の更新は 	市 長 教 育 長
2	永 澤 由 利 (6 0 分) 【一問一答】	<p>1 福島県沖地震の支援策について 3月に発生した福島県沖地震の被害の概要と支援策について伺う</p> <p>2 家畜伝染病対策について (1) 5月に市内で発生した鳥インフルエンザの対応と対策について伺う (2) 牛伝染性リンパ腫と豚熱の感染予防対策の現状と推進策を伺う</p> <p>3 資源循環型農業について 現在、ウクライナ情勢の影響で肥料が高騰し、有機肥料の確保などの懸念が生じると予想される このことから、資源循環型農業の確立が急がれると考えるが、現状と今後の具体的な施策について伺う</p> <p>4 NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地の活用策について 令和3年、新たな県立高等学校再編計画後期計画が発表され、県の再編プログラムでは令和7年度以降の統合を計画している このことから、通学の利便性を考えたとき、NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地は有力な候補地という市民の声があるが市としての考えを伺う</p>	市 長 市 長 市 長 市 長

3	千田良一 (60分) 【一問一答】	<p>1 大籠キリシタン研究について</p> <p>(1) 「大籠キリシタン資料館」入館者の現状は</p> <p>(2) 設置者一関市と指定管理者「藤沢町文化振興協会」との役割分担や調整は</p> <p>(3) 藤沢町文化振興協会が発行した「大籠の切支丹と製鉄」は「切支丹編」と「製鉄編」から構成されているが、この分野の研究発表等の現状は</p> <p>(4) 同様の歴史を有する地域や関係団体などと交流を行い、両分野の調査研究を推進、促進して、その成果を広く市民に知っていただけるよう取り組む考えはないか</p>	市長 教育長
		<p>2 NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地取得整備による市財政への影響について</p> <p>(1) 現在から見て最も先の年度での財政見通し</p> <p>○歳入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市税 ・ 依存財源（地方交付税＋臨時財政対策債） ・ 国県支出金 ・ 市債 <p>○歳出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務的経費 ・ 補助費等 ・ 普通建設事業費 ・ 物件費 他 <p>○歳出から見ての歳入不足額とその対処</p> <p>○財政調整基金・市債管理基金の残高</p> <p>(2) 市財政から見た場合、NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地は直接民間に売却され民間の経済力により利活用されるほうが最も効率的、効果的と考えるが、市は虫食い状態になることが懸念される旨の発言をされている</p> <p>その根拠と蓋然性を詳しく伺う</p> <p>(3) NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地を取得した場合の財政見通し（想定事業期間内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○取得財源の内訳とどこから調達するのか ○歳入 ○歳出、特に普通建設事業費推計額 ○歳入不足額とその対処 ○財政調整基金・市債管理基金の残高とその推移 ○取得土地に対して必要と見込まれる社会資本の整備期間と、それに掛かる事業額推計とその財源 <p>(4) 一関市として事業費を投資した場合の経済効果は</p>	市長

4	佐藤真由美 (40分) 【一問一答】	1 一般廃棄物減量化の取組について 10年、20年、100年後を見据え、自然環境や地球環境に配慮した真に持続可能な社会づくりを進め、豊かな環境を次世代に引き継いでいかなければならない 危機感を持った早急な取組が求められている (1) ごみの排出量の目標と実績について伺う (2) 集団回収の実績について伺う (3) ごみの減量を進めるには、市民と事業者と行政が一体となり、目標に向かって具体的な取組を進めること、ごみの減量がなぜ必要なのか、循環型まちづくりの必要性の普及啓発が大事だと考えるがいかがか	市長
		2 地域公共交通について 少子高齢化、人口減少、ライフスタイルの多様性を重視した持続可能な交通インフラの構築が求められている デマンド型乗合タクシーの運行状況と利用状況について伺う	市長
		3 新型コロナウイルス感染症対策について (1) 家庭内感染を増やさないため、県南に宿泊療養施設を設置するよう県に要望する考えはないか伺う (2) 新型コロナワクチン接種に伴う健康被害救済制度の申請件数と認定件数について伺う (3) 同居家族が新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者となった在宅高齢者に介護サービスを提供する介護事業者に対し市独自に補助する考えはないか伺う	市長
5	岩淵優 (40分) 【一問一答】	1 災害時における被災者支援について 「災害ケースマネジメント」の手法を取り入れる考えはないか伺う	市長
		2 子ども政策の強化について ・ 出産にかかる経済負担の実態把握について伺う ・ 出産費用の負担軽減策について伺う	市長
6	小山雄幸 (40分) 【一問一答】	1 起業促進について (1) 起業支援について伺う ・ いちのせき起業応援講座のこれまでの受講者数と起業家数 ・ 一関市起業家経営安定化支援事業補助金の概要とこれまでの交付状況 ・ いちのせきビジネスサポート相談室のこれまでの相談件数 (2) 起業促進の今後の取組について伺う	市長
		2 道路整備について (1) 国道284号一関・気仙沼間の地域高規格道路の早期実現に向けての取組状況を伺う (2) 主要地方道弥栄金成線の整備促進状況を伺う (3) 主要地方道本吉室根線の整備促進状況を伺う (4) 一般県道折壁大原線の整備促進状況を伺う (5) 道路新設改良事業費(経済対策事業)として、令和4年度の整備をどの程度見込んでいるか伺う	市長
		3 公衆トイレの整備と管理について (1) 公衆トイレの整備状況と水洗化率を伺う (2) 藤沢地域の商業地(商店街)の公衆トイレの整備状況を伺う (3) 道の駅トイレの管理状況を伺う	市長

7	<p>岩 瀨 典 仁 (5 0 分) 【一問一答】</p>	<p>1 中学校における部活動について</p> <p>日本の地域社会では、少子・高齢化が急激に進み、今まで機能してきた多くの制度が対応できなくなっている</p> <p>その1つにスポーツ・文化活動の基盤を支えてきた中学校における部活動があるが、部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場である</p> <p>また、教育的価値の下に、生涯にわたってスポーツ・文化的価値を育む役割も担ってきた</p> <p>しかし、社会の変化とともに、この制度を持続させていくことが困難になっている</p> <p>これまで部活動は教師による献身的な勤務の下で成り立ってきたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師にとって多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合が生じている</p> <p>中学生の多様なニーズや教員の働き方改革など多くの課題に直面し、その解決が迫られている</p> <p>そのような中、中央教育審議会の答申や公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法改正の国会審議において、「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨が指摘され、本年5月31日、スポーツ庁の有識者会議は、令和7年度末を目標に休日の部活指導を地域のスポーツクラブや民間のジムなどに委ねる「地域移行」を実現すべきだとする提言を了承した</p> <p>そこで、以下5点について伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中学校における部活動の現状と課題 (2) 合同部活動等の取組状況と今後の対応 (3) 部活動指導員配置の成果と課題 (4) 部活動の地域移行について当市の方針 (5) 学校と地域のスポーツ団体や指導者との連携・協働の現状と課題 	<p>市 長 教 育 長</p>
---	---	---	----------------------

		<p>2 パートナーシップ制度について</p> <p>パートナーシップ制度とは、同性同士の婚姻が法的に認められていない日本で、自治体が独自にLGBT等のカップルに対して「結婚に相当する関係」とする証明書を発行し、異性間の婚姻と可能な限り同様の行政・民間サービスや社会的配慮を受けやすくなる制度である</p> <p>この制度は、平成27年に東京都渋谷区・世田谷区でスタートし、本年5月末現在において、213自治体が導入、人口普及率52.3%であり、今後も増える見込みである</p> <p>令和2年2月には、青森県で「青森県パートナーシップ宣誓制度」が開始され、都道府県単位では全国で6番目の導入で東北地方では初となる</p> <p>市町村単位では、令和2年12月に導入した青森県弘前市が東北初である</p> <p>また、令和4年4月、秋田県は「あきたパートナーシップ宣誓証明制度」の導入を開始、秋田市も令和4年度中に導入を目指すとしている</p> <p>令和3年にSDGs未来都市に選定された本市においても導入の検討が必要と考える</p> <p>そこで、以下4点について伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市におけるLGBTについての認知度と現状把握 (2) 本市におけるパートナーシップ制度導入への考え方 (3) パートナーシップ制度導入における課題 (4) いちのせき男女共同参画プランにおけるパートナーシップ制度の位置づけ 	市 教 育 長
8	猪 股 晃 (60分) 【一問一答】	<p>1 みどりの食料システム戦略への対応について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 化学肥料の使用量を30%低減する取組について伺う (2) 持続可能な資材(肥料)調達について伺う (3) 土壌・生育データに基づく施肥管理の取組について伺う (4) 有機農業の取組面積の割合を25%拡大する取組について伺う (5) 地産地消の食育推進の取組について伺う (6) 森林・木材の活用によるCO₂吸収と固定の最大化の取組について伺う 	市 教 育 長

9	齋藤 禎 弘 (40分) 【一問一答】	1 農業への支援強化について 農業資材が昨年と比較し高騰しており、農協関係者によると来年の農業資材の価格は昨年と比較し、およそ2倍の見込みになると言われている 昨年の米価暴落と併せ、農家の経営に大きな影響を及ぼしている農家に対し、農業が続けられる支援策が求められている (1) 農業資材の昨年からの価格の変動状況について伺う (2) 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)を活用し農業資材高騰への支援をすべきと考えるがいかがか	市 長
		2 学校給食について 物価高騰を受け、学校給食の食材費が高騰している このような中で、給食費の値上げは行わず、かつ給食の回数を減らさずにこれまでどおりの学校給食を提供する必要がある (1) 食材の価格高騰による学校給食への影響について伺う (2) 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)を活用し、食材費の高騰分への補填、さらには給食費の無償化を実現すべきと考えるがいかがか	市 長 教 育 長
		3 新型コロナウイルス感染症対策について 新型コロナウイルスの感染者が依然として高止まりしている 感染者や濃厚接触者、その家族は一定期間外出の自粛を求められる この自粛期間中には、様々な支援が求められている (1) 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金と新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金について、市から企業への周知の状況と手続の状況について伺う (2) 感染者や濃厚接触者、また、その家族への食材等の購入などの生活支援について、市の取組状況を伺う	市 長
10	小 岩 寿 一 (40分) 【一問一答】	1 HPVワクチンの積極的接種勧奨の具体的な対応について (1) 対象者への通知の日程について伺う (2) 接種するワクチンの種類とスケジュールについて伺う (3) 対応可能な医療機関について伺う	市 長
		2 ヤングケアラーについて (1) 当市の実態について伺う (2) ヤングケアラーへの支援策や相談先について伺う	市 長
11	佐々木 久 助 (60分) 【一問一答】	1 農業振興について (1) 市長が考える農業の現状と必要とする対策について伺う (2) 新規就農者対策の実績と評価は (3) 農業の人手不足解消のため市職員の副業を推奨する考えはないか (4) 基盤整備事業の進捗状況と見通しは (5) 繁殖和牛生産の現状と見通し、対策は	市 長
		2 林業振興について (1) 市長が考える林業の現状と必要とする対策について伺う (2) 森林環境譲与税の現状と市の活用状況について伺う (3) 林業従事者の現状と課題について伺う (4) しいたけ生産の市が置かれている現状について伺う	市 長

12	佐藤敬一郎 (60分) 【一問一答】	1 農業の振興について 農業を行うものにとっては、米価の下落や肥料・農薬・農業資材・燃料などの物価の高騰は大打撃となっており、今後の見通しが立たない状況である さらに水田活用の直接支払交付金の見直しも追い打ちをかけており、離農者がさらに増加するものと思われる (1) 担い手の年齢構成について伺う (2) 担い手の確保・育成の状況について伺う (3) 担い手の農地集積の状況について伺う (4) マスタープラン(人・農地プラン)の実質化について伺う (5) スマート農業の導入状況について伺う	市長
		2 花泉地域診療センターの内容拡充について 花泉地域診療センターには外科と内科の2つの診療科しかない 診療時間は午前9時から午後5時までで、夜間は医師が不在となるため、花泉地域の住民は不安を抱えている (1) 花泉地域の医療体制について伺う (2) 訪問診療について伺う (3) 花泉地域診療センターの夜間対応医師の確保について、市としての考えを伺う (4) 耳鼻咽喉科及び眼科の新設について、県に対して要望する考えはないか伺う	市長
		3 JR花泉駅の管理について JR花泉駅は通勤通学の要衝である 無人化となり、駅舎並びに駅の周りの管理が懸念される (1) JR花泉駅の無人化についてJR東日本側からどのような説明があったのか伺う (2) 市は無人駅になることに対してどのように考えているのか、また、JR東日本に対して有人化の要望をしなかったのか伺う (3) JR花泉駅の日常及び冬場の管理についてどのように考えるか伺う (4) タクシーが待機しなくなったことについてどのように考えるか伺う (5) JR東日本から市が管理を受託できないか伺う (6) 駅のトイレの使用はどうなるのか伺う	市長
		4 花泉水泳プールについて 花泉の水泳プールの大人用プールは長い間稼働していない 中学生、高校生から稼働してもらいたいとの強い要望がある (1) いつから稼働していないのか、また、補修工事を行う考えはないのか伺う (2) 補修工事費に要する経費について伺う (3) プールに水を張っているが水質の悪化が心配である 蚊などの害虫の発生はないのか伺う (4) 中学生の体育の授業で水泳のカリキュラムはないのか伺う (5) 市は今後の花泉の水泳環境について、どのように考えるか伺う	市長 教育長

13	千葉栄生 (40分) 【一問一答】	1 NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地取得について NEC跡地取得の今後の取組について伺う (1) 取得に向けたスケジュールについて伺う (2) 取得にかかる財源について伺う	市長
		2 国保世帯への支援策について コロナ禍によって多くの国保世帯も収入減となり、さらに原材料高騰により物価が上昇し日常生活に不安が広がっている その認識と支援策について伺う (1) 協会けんぽとの格差是正への対応が必要だと考えるがいかがか (2) 子育て支援に逆行している子供の均等割について、さらなる減免制度の実施が必要だと考えるがいかがか	市長
14	菅原行奈 (60分) 【一問一答】	1 福島県沖地震における被害に対する支援について (1) 令和4年3月16日の地震での、市内の被害状況について伺う (2) 民間の被害に対する市の支援の考えを伺う	市長
		2 障がいのある子どもの支援について (1) 市内の障がいのある子どもの福祉・保育・教育の状況について伺う (2) 今後、保育施設または小学校、中学校の空き教室等を多機能的な施設として活用する考えがないか伺う	市長
		3 スクールバスの運用について (1) 現在のスクールバスの利用人数、利用状況等を伺う (2) 現在、小学校で4キロメートル以上、中学校で6キロメートル以上の距離にある児童生徒が、スクールバスを利用している 中学生は、自転車を利用しての通学も可能ということであるが、小学生低学年も4キロメートル未満は対象とならないことについて、その危険性も含め、どのように認識しているか伺う	教育長

15	岡田もとみ (40分) 【一問一答】	<p>1 新型コロナ・オミクロン株から市民の命と暮らしを守る対策について</p> <p>(1) 県独自の「緊急事態宣言」は解除されたが、当市の陽性者の状況は依然として10代の感染者が多い傾向にある コロナ感染は半数が無症状感染者からと言われており、今後、再拡大やクラスターの発生を防ぐためにも、児童・生徒に対し頻回に行う簡易検査が必要と考えるがいかがか</p> <p>(2) コロナ禍3年目において、その影響から生活再建や事業継続に向けた支援の強化が求められていると考える 生活困窮者、事業者への家賃補助の実施状況について伺う</p>	市長 教育長
		<p>2 「子育てするなら一関市」を実現するための子育て支援策について</p> <p>(1) 保育料は大幅に市の負担が軽減されている 軽減された分を活用すれば保育料の無償化は可能である 3歳から5歳は全額免除、ゼロ歳から2歳も免除・軽減を実施する考えはないか伺う</p> <p>(2) 待機児童の解消は緊急課題と考える 一関地域の公立幼稚園の集約計画を急ぐのではなく、待機児童の解消のためにも「こども園」として運営してこそ自治体の責務が果たせると考えるがいかがか</p>	市長
		<p>3 水田活用交付金の見直しによる大幅減収への支援策について</p> <p>政府が打ち出した水田活用の直接支払交付金の大幅カットが示され、多くの農家から「もう農業は続けられない」との声が寄せられている</p> <p>(1) 今年の作付状況について伺う</p> <p>(2) 農家の死活問題であり、このままでは地域農業が崩壊させられる 大量の離農者を出さないよう、支援策に取り組むべきと考えるがいかがか</p>	市長
		<p>4 NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地取得の問題について</p> <p>いまだに取得額及び取得後の活用策も定まっていない状況である 現状で約19億円、更地となればさらに取得額は膨れ上がる これに税金を投入することは、今「新型コロナ」「急激な物価高」で疲弊している市民生活を支える幅広い取組に支障を来しかねない 明確な方針がない中、9月通常会議にNEC跡地取得の議案を提案しようとしていることは問題である 一度白紙に戻し、生活支援、産業支援など必要な施策の実施を優先すべきと考えるがいかがか</p>	市長